学校番号	２１５

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校理科用「生物」　　（啓林館）						
副教材等	2025 新課程版セミナー生物基礎＋生物（第一学習社） 二訂版ニューステージ生物図表（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

理科・生物という枠組みに捕われず、授業を通じて知識や情報を活用し、広い視野と論理的な思考力を身に付け、学際的な興味関心を養う訓練をしていることを意識して学習に取り組んで下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物学の基本的な概念や原理、法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
【思考力・判断力・表現力等】
目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生命現象に対する探究心を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	習得した既知の知識を用いて課題から問題を見いだして探究する過程を通して、未知の事象や最新の科学的成果を探求し、その結果得たものを的確に表現し他者に伝えることができる。	身近な生命現象や生物に対して観察と実験を通じて関心や興味をもち、自主的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生命現象と物質	代謝 代謝とエネルギー 呼吸と発酵 光合成	a:代謝に関わる細胞小器官、酵素と代謝の関係を理解し、呼吸と発酵、光合成のしくみを確認する。 b:呼吸と光合成の過程を図で説明する。 c:実験を通じて酵素の性質を理解する。	・ノート ・ワークシート ・定期考査	・探究活動 ・観察 ・実験 ・定期考査	・ノート ・ワークシート ・観察 ・実験 ・問題集
	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報の発現と発生 DNA の構造と複製 遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節 発生と遺伝子発現 遺伝子を扱う技術	a: DNA の構造を図示し、転写・翻訳のしくみとの関わりを確認する。 b:生物の種類によって遺伝子の発現調節のしくみが異なることを理解する。発生の過程で胚が空間的・時間的に変化していく様子を理解し、図や文章で表現できる。 c: 一つの細胞（受精卵）が発生の過程で様々な器官を生じ、一つの個体へと成長していく様子から、生物の共通性と多様性に関心をもつ。遺伝子を伴う技術が医療や農業など様々な分野に応用されていることに関心をもつ。			
2学期	生物の環境応答	動物の反応と行動 刺激の受容 ニューロンとその興奮 情報の統合 刺激への反応 動物の行動	a: 刺激受容の実験を身体で体験し、そのしくみを理解する。 b: 、外界からの刺激に対して反応が起こるしくみを理解し、自分の言葉で説明できる。 c: 動物が生き延びるために刺激に対してどのように反応するかを様々な具体例を通じて関心を持つ。	・ノート ・ワークシート ・定期考査	・探究活動 ・観察 ・実験 ・定期考査	・ノート ・ワークシート ・観察 ・実験 ・問題集

		植物の環境応答 植物の生活と植物ホルモン 発芽の調節 成長の調節 器官の分化と花芽形成の調節 環境の変化に対する応答 配偶子形成と受精	a: 植物の成長過程を観察して環境応答のしくみを理解する。 b: 刺激に対する応答が動物と植物で異なることが、各々の身体の構造の違いによることを理解する。 c: 植物が生き延びるために刺激に対してどのように反応するかを様々な具体例を通じて関心を持つ。	・ノート ・ワークシート ・定期考査	・探究活動 ・観察 ・実験 ・定期考査	・ノート ・ワークシート ・観察 ・実験 ・問題集
	生態と環境	生物群集と生態系 個体群の構造と性質 個体群内の個体間の関係 異なる種の個体群間の関係 生態系の物質生産と物質循環 生態系と人間生活	a: 生物間の相互関係が生態系を構成し、生物の多様性が生態系を保持していることを理解する。 b: 生態系や生物多様性の保全が私たちの生活にとって重要なのはなぜかを理解する。 c: 様々な生物の生態や形態の観察を通じて、異なるところや共通点を見つける。	・ノート ・ワークシート ・定期考査	・探究活動 ・観察 ・実験 ・定期考査	・ノート ・ワークシート ・観察 ・実験 ・問題集
学年末	全範囲の復習	各単元の復習	a: これまで得た生物の知識が、医療や農業畜産に応用されている例を調べ、知識を定着させる。 b: 生物に関連する情報をニュースなどから抽出し、どこが問題か、どこが斬新か、などを議論できる。 c: これまで実験・観察した結果を振り返り、発表する。	・定期考査	・定期考査 ・実験レポート ・課題レポート	・実験レポート ・課題レポート ・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度